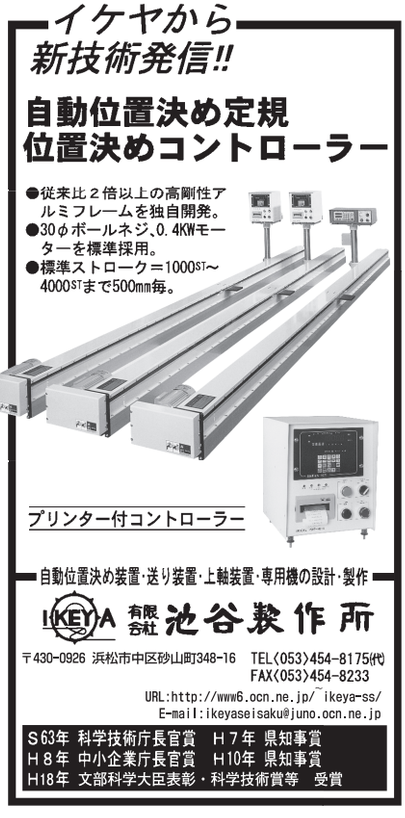
短信

shortly
but must be

新素材加工機の総合メーカーとして
HEIAN INNOVATION
HEIAN HOPS
株式会社平安コーポレーション
本社・本社工場／〒430-0853 静岡県浜松市南区三島町1418 TEL (053) 441−3311 (代) FAX (053) 442−1856
都田システム研究所／〒431-2103 静岡県浜松市北区新都田1−5−2 TEL (053)428−5321 FAX (053) 428−5631
http://www.heiancorp.com E-mail:info@heiancorp.co.jp
北海道駐在所／東日本テクニカルセンター／中部営業所／関西営業所／中・四国営業所／西日本テクニカルセンター／九州営業所

ＴＯＫＹＯ国際木工機械見本市 初の国土交通大臣賞を創設

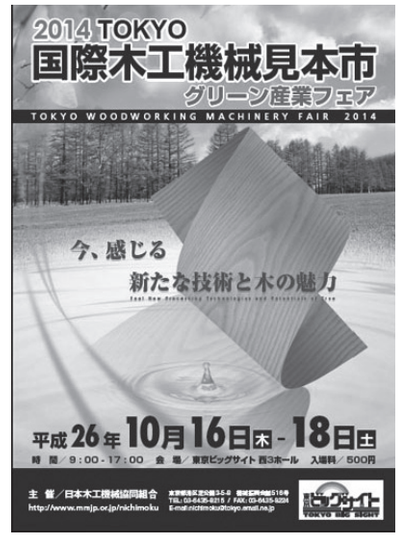
「２０１４ＴＯＫＹＯ国際木工機械見本市」は、10月16日（木）～10月18日の３日間、東京ビッグサイト西３ホールにて開催される。９月１日に主催者の日本木工機械協同組合が開催した記者会見によると、今年は木工機械メーカーなど53社、１８１小間が出展する。



今年のトピックとしては、初めて国土交通大臣賞を設けたことで、国土交通大臣賞、林野庁長官賞、関東経済産業局長賞、輸入機械優秀賞の４つの賞を設けて、学識経験者から成る審査員が評価。会場で表彰の授与を行う。

特別講演としてはドイツの機械メーカーコンサルタントで住宅加工分野のスペシャリストであるアルビン・シエガルド氏による「ヨーロッパにおけるＣＬＴ製造・利用の最新事情」を16日の10時半より開催。

今年で第40回目を迎える同見本市は隔年ごとに東京で開催されており、名古屋で隔年で開催される日本木工機械展（昨年開催）と並ぶ東日本最大規模の見本市である。これまで同見本市では精密機械の運送賃が数十万以上と多額に及ぶことからパネル展示も多い傾向もあったが、オリンピック需要とあいまって建設投資と労働生産性を高めつつある日本経済の動きと相まって、機械業界は好調な動きもあり、装置産業とも言われる住宅資材の分野は着工減にも関わらず設備投資は好調である。こうした動きの中で、情報の中心地で汎用性の高い機械の普及を促進していくのは必然的な流れであり、主催団体の尽力もあって国交省では大臣賞の創設に協力する運びとなった。

今年は出展社ブースにおける実機の展示が８割以上と実機の展示比率の高いことが特徴。その背景としては、今年はじめて出展社の助成制度を設けて往路の運賃を展示会側が負担することになったことがある。７月にはブースが全て埋まり好評を博したことから、２年後の開催時には面積の広い東ホールを借りて更なる出展者の増加を図る予定である。

原田博光　理事長